

# ベトナムの最新医療事情

日外協の国別生活情報インタビュー動画〈ベトナム編〉の「健康と医療のポイント」編にご出演のファミリーメディカルプラクティスの千葉先生が、現地の邦人向け医療サービスの最新情報を解説する。



Family Medical Practice ハノイ院  
医師 千葉 大

## 現地の医療サービス

ベトナムにおいて、日本語で診療を受けられる医療機関は2種類。1つは日本人医師が勤務する医療機関、もう1つは日本語の通訳を介して診療を受けることができる医療機関。

私を含め日本人医師が勤務する医療機関はハノイとホーチミンのみで、それ以外はハイフォンやカントーといった都市でも通訳を介しての診療に限定される。

夜間休日に外国語での診療を提供する医療機関はハノイ・ホーチミンのFamily Medical Practice (FMP)、大都市の国際病院(ビンメック、ハノイフレンチ、FV) など非常に限られる。

ベトナムを含む東南アジアでは処方箋なしで大抵の医薬品が薬局で購入できるので、利用のコツを知って便利に活用したい。ただし薬局店員は医薬品の商品知識が乏しく、相互作用や副作用にも注意を払わないため、自分が必要とする医薬品名を事前に把握しておくことが重要で、薬局店員のお薦めをうのみにしないこと。

日本では頼りになる救急車だが、ベトナム

### Family Medical Practice (FMP) とは

Family Medical Practice (FMP) は、ベトナム初の外資系クリニックで、ハノイ、ダナン、ホーチミンに展開しています。日本人は医師5人を含む14人を擁し、在留邦人や旅行者にも幅広く利用されています。経験豊富な専門医、国際基準認定の検査システム、24時間365日オープンERと専用救急車を備え、健康診断やワクチン接種から国際搬送までを幅広く提供しています。



の公的救急車は利用を勧めない。専門知識や訓練に欠ける運び屋で、日本語はもちろん英語も通じない。搬送先となる公



FMP が保有する救急車  
[\*9999] が救急電話番号

立病院も同様で、経験豊富だが接遇という概念に乏しく、多くの日本人にとっては苦痛が増す恐れが強い。ベトナムでは、公的救急車とは別に医療機関が独自に救急搬送サービスを展開しており、特にホーチミン市内でFMPが展開している「\*9999」は先進国の救急サービスに近い。

## よくある傷病と事象

**胃腸炎：**軟水と繊細な味付けに慣れた日本人は、程度の差はあれど海外での胃腸トラブルが不可避とすら言える。次第に慣れる場合も多いが、吐き気が強くて飲食できない、高熱や血便がある、となったら受診を勧める。もちろんリスクが高い喫食を避ける工夫は重要である。具体的には、露店で飲食とくにカットフルーツや生肉を避ける、ローカルフードは回転が早い人気店に限る、冒険はしない、など。なおベトナムで水道水は飲めない。

**デング熱：**蚊に刺されて感染するウイルス性疾患で、インフルエンザと見紛う発熱や頭痛を発症する。ときに入院を要する強い症状が出る